

# 令和3年度1学期部集会

## 校長校講話

今日は2年ぶりの部集会です。生徒の皆さんの顔を見ながらお話できるのは本当に幸せだな、と心から思います。一方、少し心配していることもあります。4月に新たな出会いがあって友達の輪も少しずつ広がってきていると思いますが、そんな中、人間関係で悩んでいる人はいないかな、ということです。

今日のテーマは一つだけです。見えない人の心に気づいてほしい、ということです。

さて、ここにいる皆さんは、次にあげるような行為をしたり、されたり、あるいは人がしているのを一緒になってはやしたり、見て見ぬふりをしていませんか？目を閉じて自分自身にしっかり問いかけてください。6つ挙げます。

- ①机やノートに落書きする、持ち物を勝手にさわる、床にわざと落とす・・・いやがらせ
- ②失敗したこと、話し方や動き方を大げさにマネして笑う・・・からかい、いじり
- ③その人が来た時急におしゃべりをやめる、逃げる、一人ぼっちにする

・・・無視や仲間はずし、「しかと」という言い方もあります

- ④遊ぶふりして叩いたり蹴ったりする・・・暴力
- ⑤「死ね」「くそ」「ばか」「きもい」「うざい」・・・悪口、言葉の暴力
- ⑥人と違っていることを笑う、ばかにする、冷やかす・・・差別、人権侵害

目を開けてください。

いじめられた人にとって、これらは全部心に傷を残す行為です。心の傷は目には見えません。だから、いじめた人は自分が相手の心を傷つけたことに気づかなかったり、気づかないふりを容易くしたりします。また、傷つけられた人の中には大丈夫？と聞かれて大丈夫です、などと答えて心の傷を隠そうとする人もいます。

しかし、心の傷は一生消えないことだってあるのです。

そのために学校に来れなくなる人や、時には自ら命を落とす人だっているのです。

先ほど私は、心の傷は目には見えません、と言いました。

けれど、気づくことはできるはずです。

自分にとっては些細な行いだと思ったり、友達同士のふざけ合いで大したことじゃないと思ったりしないで、相手の心を傷つけていないか、常に気を配ってほしい。誤って人の心を傷つけて知ったと気づいたら、ごめんなさい、もう2度としません、と謝ってほしい。

それは周囲にいる人達も同じです。誤った行為、行き過ぎた言動があったら、互いに注意してほしい、傷ついた人を一人にしないでほしい。一人じゃないよ、自分は味方だよ、というメッセージを送ってあげてほしい。自分たちで解決できなければ、どうしたらよいか深く考えてほしい。

さあ、今日から改めて見えない人の心に気づく、ということをやって行ってください。

今月は中間考査もあります。ワンステップ上を目指して努力を積み重ねてください。

私の話は以上です。